

# ヘルスジョガーT-660

## 取り扱い説明書





安全上の注意	P 1～4
部品リスト	P 5～6
組み立て方法	P 7～11
コントロールユニットの説明	P 12～13
簡単操作方法	P 14
プログラムの操作方法	P 15～19
グリップパルスの使い方	P 20
部品展開図	P 21～22
折りたたみ方法	P 23
トラブルシューティング	P 24
本体仕様	P 25

テレビ等電磁波の発生する機器より  
2メートル上離れた所に置いて下さい。  
●設置場所は水平な床の上に置き十分な  
スペースをとってください。




# 安全上のご注意

お使いになる前によくお読みください








- ここに示した警告サインと図記の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告サイン	内容
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。





物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。



図記号の例	
	記号は注意(警告を含む)を表示します。具体的な注意内容は、の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は“感電注意”を示します。
	⊘記号は禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。
	●記号は強制(必ず守ること)を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は“一般的な強制”を示します。




## ●健康を害することのないために必ず守っていただきたいこと

 <b>警告</b>		 <b>注意</b>	
本機は、健康な人を対象とした商品です。心臓病、高血圧症、糖尿病、呼吸器疾患、変形性関節症、リウマチ、痛風、妊娠中のかた、その他病気や障害のあるかた、リハビリを目的とするかた必ず医師と相談のうえ使用してください。		運動前のウォーミングアップ、運動後のクールダウンは必ずおこなってください。	
・事故や体調不良をおこす原因となります。		・健康を害する恐れがあります。	
運動中、身体に異常(めまい、冷や汗、吐き気、脈拍の乱れ、動悸など)を感じたときは、ただちに運動をやめてください。		日頃、運動していないかたは、徐々に運動強度を上げるようにしてください。	
・健康を害する恐れがあります。		・ケガや健康を害する恐れがあります。	
		飲食後や疲労時、運動直後、または体力の状態が平常でないときは、運動をおこなわないでください。	
		・健康を害する恐れがあります。	



## ●本機を安全に使用していただくために必ず守っていただきたいこと



 <b>注意</b>		 <b>注意</b>	
本機は、取扱説明書に従って正しく使用してください。		ご使用前に、ベルトに亀裂や摩擦などの変化がないか、接地部のがたつきや、ハンドルなどの接合部に異常がないか確認してから使用してください。	
・ケガをする恐れがあります。		・使用中に破損すると危険です。	
ベルトが一方に片寄ってきたり、はずれそうになったときは、使用を中止し、ただちにベルト調整ネジで調整してください。		乗降する場合などにハンドルにもたれかからないように、注意してください。	
・ケガをする恐れがあります。		・転倒やケガをする恐れがあります。	

 注意	
<p>運動に適した服装で使用してください。回転、駆動部に巻き込まれる恐れがあるため、ひも類のない服装にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> <li>・衣服を損傷する恐れがあります。</li> </ul>	
<p>本機は、運動に適した靴を履いて使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>トレーニング中は必ず安全キーを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故を誘発する恐れがあります。</li> </ul>	
<p><b>ベルト幅の中央を歩いてください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベルトの端や左右に片寄って歩くとベルトの片寄りや摩耗、破損の原因となり、ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>動かない場合や異常を感じたときは、使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグを抜き、本社お客様サービスセンターへ修理の依頼をしてください。(電話番号 052-501-2577)</p>	



 注意	
<p><b>最大使用体重は 130kg です。体重が 130kg を超えるかたは使用しないでください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用中、破損する恐れがあります。</li> <li>・安全装置が作動し、ベルトが急に停止する恐れがあります。</li> </ul>	
<p><b>同時に 2 人以上で使用しないでください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p><b>本機は、別の用途に使用しないでください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>走行中、歩行デッキに飛び乗ったり、飛び降りたりしないでください。また、トレーニング中に本機を動かしたり、周囲の人が使用者を押ししたりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の誘発や転倒の恐れがあります。</li> </ul>	
<p>トレーニング中、ベルトの走行方向に対し逆方向につっぱったり、足をひきずるような歩行はしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベルトに無理な力がかかり、安全装置が作動し、ベルトが急に停止する恐れがあります。</li> </ul>	
<p>ベルト調整中はベルトに触れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p><b>分解や修理、改造をおこなわないでください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発火したり、故障や事故の原因となります。</li> </ul>	



## ●お子様の事故やケガを防ぐために必ず守っていただきたいこと

 注意！	
<p>開梱したときにできるビニール袋で遊ばないようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窒息する恐れがあります。</li> </ul>	

 注意！	
<p>使用中、本機の周りにお子様近づけないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	



# 安全上のご注意




 警告	
<p>保護者のかたは、お子様が本機で遊ばないようにご注意ください。</p>	
<p>本機を使用しないときは、お子様がぶらさがったり、寄りかかったりしないように注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	

 注意	
<p>お子様が保護者の指導監督なしに勝手に使用しないようご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	



## ●設置や移動するときに必ず守っていただきたいこと






( テレビ等電磁波の発生する機器より2メートル以上離れた場所に設置してください。 )




 注意	
<p>乗り降りや運動に十分なスペースを確保してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の誘発や転倒の恐れがあります。</li> </ul>	
<p><b>水平な堅い床の上に設置してください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒してケガをする恐れがあります。</li> <li>・本機が沈み込み、畳、じゅうたんにベルトがすれて損傷したり、摩擦熱で発火、発煙の恐れがあります。</li> </ul>	
<p>表示ユニットを取り付けている固定用ネジやスタンドの取り付けネジが確実に取り付けができていないか、また、調整部が適切に調整されているか、必ず確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネジがゆるんだまま本機を使用すると、ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>本機の下に破れにくく、滑りにくいシートなどを敷いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本機がシートの上で滑り、転倒してケガをする恐れがあります。</li> <li>・床面を傷つけたり、汚したりする恐れがあります。</li> </ul>	
<p><b>電源プラグや電源コードは濡れたり燃えやすい物が近くにならないことを確認して使用してください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感電、発火の原因になります。</li> </ul>	
<p>歩行デッキを折りたたむときや倒すときは、電源プラグを抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の誘発やケガをする恐れがあります。</li> </ul>	

 注意	
<p>設置や移動するときは、電源プラグを抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感電する恐れがあります。</li> <li>・事故の誘発やケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>移動時には、歩行デッキが折りたたみ止め具でしっかりと固定されていることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒やケガの恐れがあります。</li> </ul>	
<p>歩行デッキを折りたたむときや倒すときは必ずデッキの後をもってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の誘発やケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>本機を手前に傾けるときは、ハンドルの手前湾曲部を持ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行デッキが手前に動き指を挟んでケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>屋外や浴室付近、湿気やホコリの多いところ、水滴などがかかる場所には設置したり保管したりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感電する恐れがあります。</li> <li>・さびが発生したり故障の原因になる恐れがあります。</li> </ul>	
<p>ベルト面が直射日光にあたる場所や、高温の場所には設置しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベルト劣化の原因になります。</li> <li>・カバー等が変形することがあります。</li> </ul>	
<p>本機は重量物であるため、無理な姿勢で持ち上げたり、支えたりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腰痛やケガの恐れがあります。</li> </ul>	

●電源の取り扱いについて必ず守っていただきたいこと

	
<p>電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感電やケガをする恐れがあります。</li> </ul>	

	
<p>電源プラグはホコリを拭きとり、コンセントにしっかり根元まで差し込んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感電、ショート、発火の原因になります。</li> <li>・使用中に電源プラグが抜けると急にベルトが停止し、ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p><b>使用後は電源スイッチを切り、使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故やトラブルにつながる恐れがあります。</li> </ul>	
<p>電源は必ず単独で交流 100V/15A 使用してください。(プレーカー 1 に対し 1 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災や感電の原因になります。</li> </ul>	
<p>タコ足配線は、絶対にしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災や感電の原因になります。</li> </ul>	

	
<p><b>電源プラグを引き抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コードが断線やショートして火災や感電の原因になります。</li> </ul>	
<p>アースは確実に取り付けてください。また、ガス管や水道管には絶対にアース線を接続しないでください。アース線を接続するときは電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>静電気や故障のときの感電防止のために</u>、アースは必ず取り付けてください。アースの取り付けは、お買い上げの販売店、電気工事店へご相談ください。(取り付け工事は有料です)</li> </ul>	

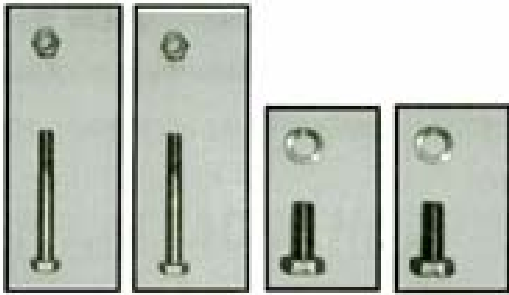
<h2>お願い</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本機を火気あるいは熱源の近くに保管しないでください。</li> <li>・本機の表示ユニットは精密な電子部品でできています。移動するときなどに衝撃を与えたり振動の加わる場所での使用は避けてください。(動作が不安定になったり破損する場合があります。)</li> <li>・本機の使用環境温度は+10-+35 です。この温度範囲外での使用は避けてください。(故障の原因になります。)</li> <li>・運動中は、たばこを吸わないでください。</li> <li>・歩行デッキやベルトのすきまなどに異物を入れないでください。特にお子様のいるご家庭は注意してください。(異物が入ったままで使用すると故障の原因になります。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本機を廃棄するときはお住まいの市区町村の指導に従って処分してください。(環境汚染の恐れがあります。)</li> </ul>

部品リスト 1 (部品名称)

1	2	3
<p>本 体</p>	<p>コントロールユニット</p>	<p>ハンドルグリップ (両側パルスセンサー付) (右速度ボタン・左傾斜ボタン付)</p>
		
4	5	6
<p>ボトルケース</p>	<p>デザインカバー</p>	<p>電源コード</p>
		
7	8	9
<p>安全キー</p>	<p>潤滑シリコン油 ・ ノズル</p>	<p>ボルト・ナット・ 工具一式</p>
		

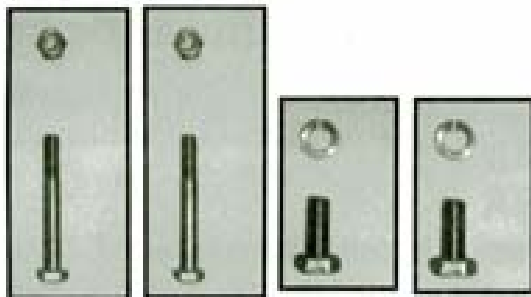
部品リスト 2 (ボルトの種類と数)

右側支柱固定用

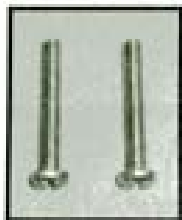


平ワッシャー M8 2枚  
スプリングワッシャーM8 2枚  
ボルトM8×60mm 2本  
ボルトM8×30mm 2本  
ナイロナットM8 2ケ

左側支柱固定用

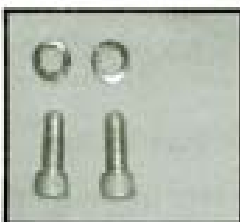


平ワッシャー M8 2枚  
スプリングワッシャーM8 2枚  
ボルトM8×60mm 2本  
ボルトM8×30mm 2本  
ナイロナットM8 2ケ



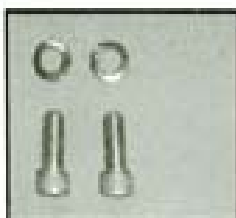
支柱下プラスチックカバー固定ボルト  
M5×30mm

コンソール固定用



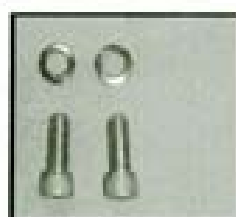
ボルト M8x16mm  
スプリングワッシャーM8

右側ハンドルバー固定用



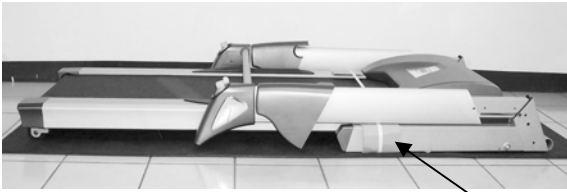
ボルト M8x16mm  
スプリングワッシャーM8

左側ハンドルバー固定用



ボルト M8x16mm  
スプリングワッシャーM8

## 組み立て方法 1



はじめに箱の中から全ての部品のみを取り出し2人以上で本体を空きスペースに取り出してください。重量物なので慎重に運んでください。

**注意！** その際本体中央部のバンドは絶対に切らないでください。持ち上げたとき急に脚部が開いてしまい大変危険です。 操作パネル取り付け後にバンドを切ってください。



振動・防音・キズ防止に！  
設置面がフローリング等の場合  
ゴムマット・カーペットマットを敷いてください。防音効果があります。



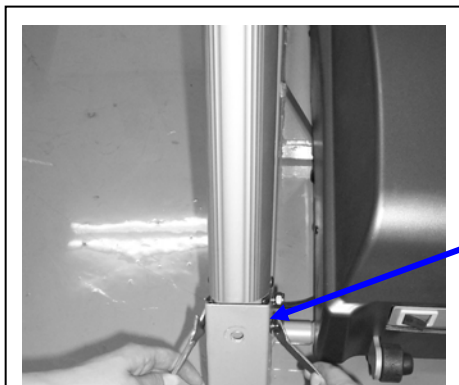
両手で支柱を持ち上げ垂直になった時点でゆっくり下に支柱を押し込みます。

**注意！**  
差し込む場合左右均等にしたへ押し込んでください。

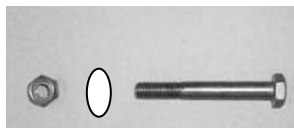
支柱固定部の孔を合わせ次へすすみます。



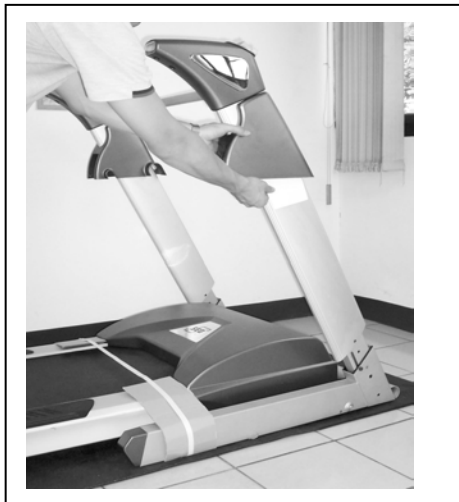
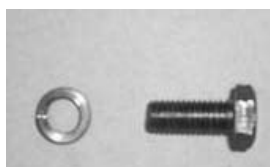
## 組み立て方法 2



ボルトM8×60mmとM8のナットで左右の支柱下部を図のように固定する。  
外側よりボルトを差込み内側から平ワッシャーを入れロックナットを工具で固定する。



ボルトM8×30mmにM8のスプリングワッシャーを入れて支柱下部の図のように各2箇所ずつ工具で固定する。



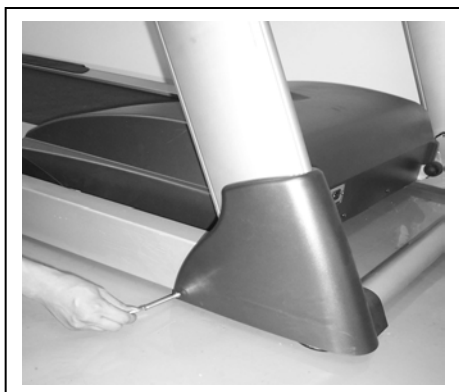
支柱カバーを下におろす。

### 注意！

左右均等に下へ押し下げる。

その際右側下のコードに接触しないよう  
よけてください。

コードを引っ張りすぎると抜けてしまうことが  
あります。



ボルトM5×30mmで図下のように左右両側  
のカバーを固定する。



### 組み立て方法 3

コントロールユニットの取付  
2人で取り付けてください。  
一人がコントロールユニットを持ち、  
もう一人の方が図のように  
電線コードソケットを接続し、はさみ込まない  
ように注意して、内部へ収納してください。

**注意！電線コードをしっかりと接続して下さい。**

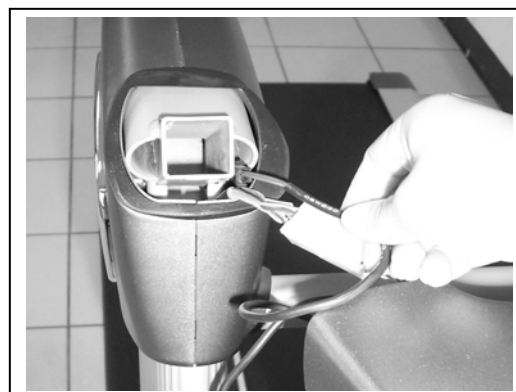
この位置にソケットを立てて  
入れてください。



上から見た図



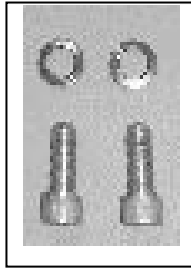
同時にパルスセンサーコードはハンドル固定部の内  
側に左右各2本ずつ通してください。



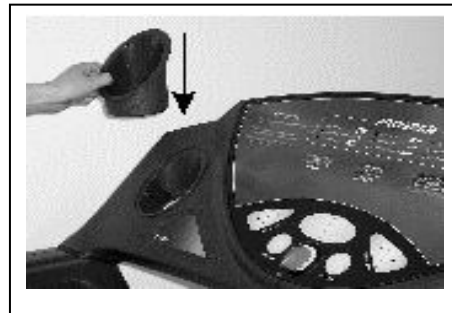
**電線コードを挟み込まないように注意して、左右の支柱にゆっくり差し込んでください。**

## 組み立て方法 4

ボルトM8×16mmとM8ワッシャーで、左右を図のように固定する。



ボルトホルダーを、コントロールユニットの両サイドの穴に差し込んで下さい。



安全キーを、所定の位置にセットする。

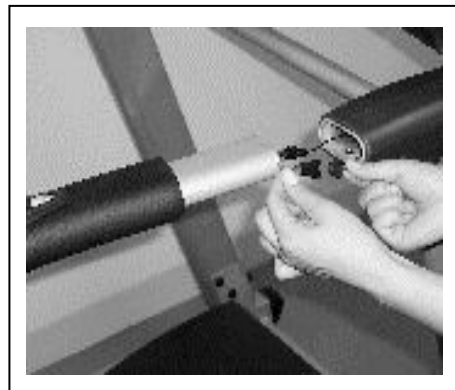


### ● ハンドルの取り付け

注意：右側スピード (SPEED) のハンドル  
左側傾斜 (INCLINE) のハンドル  
図のようにセンサーソケットをしっかりと接続して下さい。

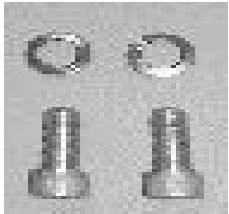
**注意！コードを挟み込まないように**

**ハンドルを差し込んでください。**



## 組み立て方法 5

ボルトM8 x 16mmとM8ワッシャーで左右のハンドルを図のように固定する。



デザインカバーを取り付ける。



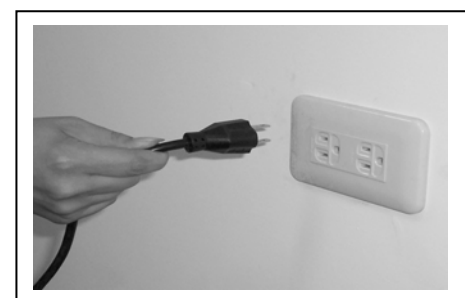
### 【重要】

これで組立が終了しました。  
再度工具を使いボルトを締め付けてください。

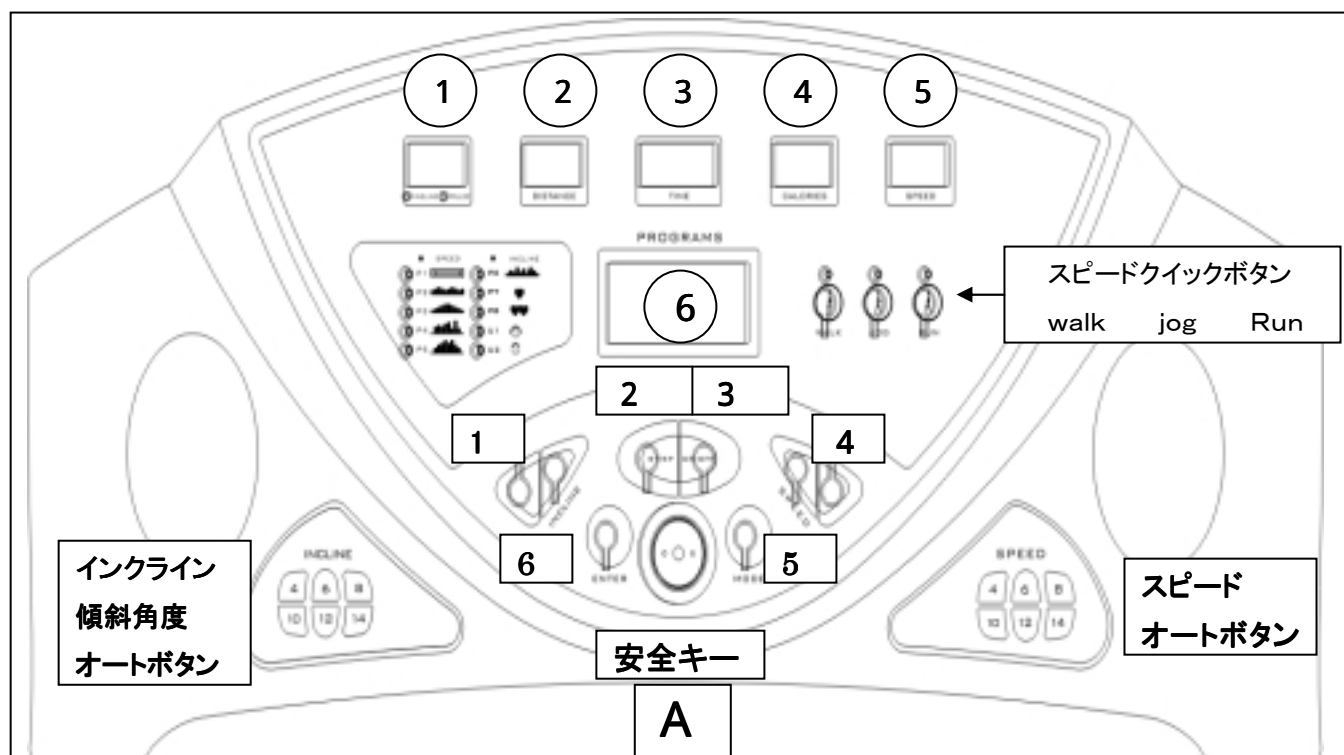
電源コードを本体に差し込む。



電源コードをコンセントに差し込む。  
本体電源スイッチをONにする。  
電源コンセントは必ずAC100V15Aの  
単独回路を使用してください。  
アースの接続も行ってください。



## コントロールユニットの説明



### ディスプレイ表示の説明

#### ①PULSE/INCLINE :【脈拍・傾斜】

\* 傾斜 (左側に表示): 傾斜レベル 0-16 を表示します。【傾斜角度 0 ~ 12 %】

\* 脈拍 (右側に表示): 脈拍数を表示します。【60~220】

#### ②DISTANCE:【距離】

\* 距離を表示します。表示する範囲は、0.00 から 999 (KPH キロ MPH マイル切り替え可能)

: 目標距離を 999 から 1 キロメートル単位で設定できます。設定した距離はカウントダウンします。

0 になると走行ベルトが停止します。停止前に終了音が鳴ります。

#### ③TIME【時間】

\* 運動時間を示します。表示する範囲は 0:00 から 99:59。

: 目標時間 10 分から 99 分まで 1 分単位で設定できます。設定した時間はカウントダウンします。

0 になると走行ベルトが停止します。停止前に終了音が鳴ります。

#### ④CALORIES【消費カロリー】

\* 消費カロリーを表示します。表示する範囲は、0.0 から 999kcal。

: 目標カロリーを 1 から 999kcal まで 1 キロカロリー単位で設定できます。

1 から 999kcal 設定したカロリーはカウントダウンします。0 になると走行ベルトが停止します。

停止前に終了音が鳴ります。

#### ⑤SPEED【速度】

\* スピードを表示します。(1 キロ単位で設定可能)

: 0.8 から 16KPH 「SPEED + -」ボタンを押すことによってスピードを変えることができます。

#### ⑥PROGRAM【プログラム】

\* プログラム設定時のグラフを表示します。

## 各操作ボタンの説明

A. 安全キー：正しくセットしてください。正しくセットしないと動きません。

：キーが外れるとモニター電源が切れると同時に走行ベルトが停止します。

\* 運動しないときは安全キーを外してください。

1. INCLINE 傾斜角度調整ボタン： + を押すと本体の前側が上がり、 - ボタンで下がります。

各項目の数値を設定する場合にこのボタンを使用します。

2. START/STOP ボタン：スタート・ストップキー

一度押すと走行ベルトがスタートします。もう一度押すと走行ベルトが止まります。( P A U S E )

3. 電源ON:OFFボタン

一度押すとモニター電源が入ります。もう一度押すとモニター電源が切れます。

4. SPEED ボタン：スピード(プラス) + ボタン：スピード(マイナス) ボタン

スピードを+ ボタンで上げる、- ボタンで下げます。

a. + ボタンを1回押すと、0.2KPH または 0.1MPH スピードがあがります。

b. - ボタンを1回押すと、0.2KPH または 0.1MPH スピードがさがります。

★各項目の数値を設定する場合にこのボタンを使用します。

5. MODE ボタン：プログラムを選択時にこのボタンを使います。

プログラムは P1、P2、P3、P4、P5、P6、P7、P8、U1、U2 です。

選択したプログラムは PROGRAM ディスプレイにトラック又はグラフを表示します。

6. ENTER ボタン(入力)

プログラム決定または設定値を確認するために、このボタンを押してください。(決定ボタン)

### ◎キロメートル/マイルの切り換え。

SPEED + ボタンキーと SPEED - ボタンを押してください。

約 2 秒キーを押すと、LEDディスプレイが自動的にKM (キロ)MILE(マイル)を変更します。

● 1 マイルは 1.6 キロメートルです。

### スピードクイックボタン

\*スピードクイックキーはマニュアルの(P1)時だけ使えます。

a. WALK・ウォーキング：速度が約 4 キロに設定されています。

b. JOG・ジョギング：速度を約 7 キロに設定されています。。

c. RUN・ランニング：速度がを約 1 0 キロに設定されています。

スピードをあげる時は+ プラスキーを押す・さげる時は- マイナスキーを押す。任意調整可能

## 簡単操作の方法

- 1: 電源プラグをコンセントに差し込む。
- 2: 電源スイッチを入れる。(前方前側下部あり)
- 3: サイドレールに立ちます。
- 4: 安全キーをモニターに取り付け、安全キーのクリップを洋服に付けてください。
- 5: **3**の電源ON:OFFキーを押す。
- 6: **2**.ST/SP:スタート・ストップキーを押す。  
**注意!** \*安全のため走行ベルトが動き出すまで走行ベルトの上に乗らないで下さい。  
**警告!** スピードプラス+ボタンは、絶対に押し続けられないこと。
- 7: **4** SPEED: スピード(プラス)+ボタンを1回押して走行ベルトが、時速0.8キロで動き出したら、走行ベルトに乗り、歩き出して下してください。スピード(プラス)ボタンを、押してお好みのスピードでトレーニングしてください。
- 8: **トレーニングの終わり。**
  - \* スピード(マイナス)-キーを、押してスピードを0.8キロに下げた後**2**ST/SPボタンを押し、最後に**3**の電源ON:OFFキーを押す。
  - \* 安全キーのクリップを衣服からはずす。
  - \* 電源スイッチを切る。
  - \* 電源プラグをコンセントから抜く。(長時間ご使用されない場合は必ず抜いてください。)

**注意! 非常時以外は安全キーで停止させないでください。**

**頻繁に安全キーにて停止されるとプログラムが狂うことがあります。**

**脈拍数**脈拍数は「PULSE/INCLINE」ディスプレイで表示します。(PULSE)ランプ点灯。

<重要> 運動中の脈拍数値を表示しますが、医療用の脈拍計(数値)ではありません。

あくまでも目安としてご利用してください。

\*手のパルスセンサー・・・右・左の手を金属パルスセンサーに軽く握ってください。

P 2 0 参照

## プログラムの説明

### プログラムの種類

- \* P1(マニュアル)を含む 10 のプログラム。
- \* 5 つのプリセットプログラム(P2 から P6)。
- \* 2 つのハートレートプログラム(P7 から P8)。
- \* 2 つのユーザー設定プログラム(U2・U1)があります。「MODE」ボタンを押して選ぶ。  
選ばれたプログラムは PROGRAM ディスプレイ にグラフを表示します。

## オートプログラムの説明

### 重要

オートプログラム P 2 から P 6 は 2 0 分割 (セクション) に分けられております。  
TIME 時間設定しない場合は、各プログラムの間隔は 60 秒で変化 (移行) します。  
例えば、時間 20 分設定したとき、各間隔は 1 分で変化 (移行) します。  
時間 10 分設定したとき、各間隔は 3 0 秒で変化 (移行) します。

運動する前に TIME 時間の値を設定することができます。

数値を設定するには、「INCLINE +」または「SPEED+」で時間 10 分 ~ 99 分を選び、「ENTER」ボタンを押して時間設定をしてください。

- \* 例えば、時間 20 分で設定された場合、20 分後自動的に停止します。

注意 P 2 ~ P 6 のプログラムにて脈拍の設定はできませんが、脈拍での負荷制御はできません。

U 1 ・ U 2



## プログラム 1 - マニュアルモード(手動操作)

1. 安全キーをコンソール指定位置 **A** に置いてください。
1. 電源 ON/OFF ボタン **3** を押してください。
2. **MANUAL(P1)プログラムが表示します。PRESS START OR MODE OR ENTER**  
**5** **MODE** ボタンを押して決定する。MANUAL SPEED AND INCLINE と表示
3. プログラムディスプレイ**6**に ENTER WORKOUT TIME と表示します。
4. 運動時間を設定 INCLINE + - 又は SPEED+ - ボタンで、運動時間(10:00 から 99:00)を設定し ENTER キーを押す。
5. プログラムウィンドウに ENTER WORKOUT DISTANCE と表示
6. 運動距離を設定 INCLINE + - 又は SPEED+ - ボタンで、運動距離(0.00 から 999KM/MILE)を設定し ENTER キーを押す。
7. プログラムウィンドウに ENTER WORKOUT CALORIES と表示
8. 運動カロリーを設定 INCLINE + - 又は SPEED+ - ボタンで、運動カロリー(0.0 から 999)を設定し ENTER キーを押す。
9. プログラムウィンドウに ENTER TARGET HEART RATE と表示
10. 目標心拍数を設定 INCLINE + - 又は SPEED+ - ボタンで、目標心拍数(0-60、 60-220)を設定し ENTER キーを押す。
11. プログラムウィンドウに PRESS START TO BEGIN と表示
12. START/STOP を押してください。  
プログラムウィンドウに READY SET GO と表示され走行ベルトが動き出します。  
運動を一時停止したい場合は START/STOP ボタンを 1 回押してください。  
再度押すとベルトが動き出します。
13. いずれかの設定された数値からカウントダウンし、目標値に達すると終了音とともに走行ベルトが停止します。再度 START/STOP ボタンを押すとその他の設定された項目 (未達成) に向かい再起動いたします。

.MANUAL モードにすると、トラック表示になります (0.25 マイル(400 メートル))

点滅するランプはトラックの上のユーザーの現在のポジションを示します。

.目標を設定されない場合 ENTER と押して先へお進みください。

.設定されていない項目は START と同時にカウントアップします。

.走行時に WALK・JOG・RUN のボタンで速度を変更することができます。

又、SPEED スピード、I N C L I N E インクラインのオートボタンは任意設定可能です。

注意！プログラムで作動させている場合は JOG・WARK・RUN のボタンは使用できません。

## プログラム 2~6 プリセットプログラムの操作方法

1. 電源 ON/OFF ボタン **3** を押してください。
  2. MODE ボタン **5** を押して P2 から P6 いずれかのプログラムを選択し ENTER ボタンを押す。  
プログラムディスプレイ **6** に ENTER WORKOUT TIME と表示
  3. 運動時間を設定 20 個のプログラムセクションは設定した運動時間が 20 等分に分割されます。  
INCLINE + - 又は SPEED+ - ボタンで、運動時間(0:00 から 99:00 の記録)を設定し  
ENTER ボタンを押す。時間設定しない場合は自動的にセクションが 60 秒ごとに移行します。  
プログラムディスプレイに ENTER WORKOUT DISTANCE と表示
  4. 運動距離を設定 INCLINE + - 又は SPEED+ - ボタンを使って、運動距離(0.00 から  
999KM/MILE)を設定し ENTER ボタンを押す。  
プログラムディスプレイに ENTER WORKOUT CALORIES と表示
  5. 運動カロリーを設定 INCLINE + - 又は SPEED+ - ボタンで、運動カロリー(0.0 から 999)を  
設定し ENTER ボタンを押す。  
プログラムウィンドウに ENTER TARGET HEART RATE と表示
  6. 心拍数を設定 INCLINE + - 又は SPEED+ - ボタンで、心拍数(0-60、 60-220)を  
設定し ENTER キボタンを押す。  
プログラムウィンドウに PRESS START TO BEGIN と表示
7. START/STOP を押す。  
プログラムウィンドウに READY SET GO と表示され走行ベルトが動き出します。運動を一時  
停止したい場合は ST/ST を押します。もう一度押すと再スタートします。
8. いずれかの項目が目標値に達すると終了音が鳴り自動的に走行ベルトが停止します。  
POUSE TOTAL ODOMETER?? KM と表示します。  
オドメーターは総合走行距離です。電源が切れてもリセットされません。

任意設定をしたい時

1. 目標を設定しない場合は、そのまま START ボタンを押してください。

## プログラム 7 (減量) 8 (ハードトレーニング) 脈拍トレーニングの操作方法

このプログラムは運動時に設定された脈拍数値より、脈拍が上がった場合はスピードが下がり  
下がった場合はスピードが上がり負荷を自動的にコントロールします  
時間・距離・年齢等の入力にて換算された数値が脈拍表示されます(任意に変更できます)

1. 電源 ON/OFF ボタン **3** を押してください。
2. MODE ボタン **5** を押して P7 又は P8 のプログラムを選択し ENTER ボタンを押す。  
プログラムウィンドウに ENTER WORKOUT TIME を表示
3. 運動時間を設定 INCLINE + - 又は SPEED+ - ボタンで、運動時間(0:00 から 99:00 の記録)  
を設定し ENTER ボタンを押す。  
プログラムウィンドウに ENTER WORKOUT DISTANCE と表示
4. 運動距離を設定 INCLINE + - または SPEED+ - ボタンを使って、運動距離(0.00 から

999KM/MILE)を設定しENTERボタンを押す。

プログラムウィンドウにENTER WORKOUT CALORIES と表示

5. 運動カロリーを設定 INCLINE + - 又は SPEED+ - ボタンで、運動カロリー(0.0 から 999)を設定しENTERボタンを押す。

プログラムウィンドウにENTER AGE とを表示

6. 年齢を設定 INCLINE +-または SPEED+-ボタンを使って、年(10 から 99)を設定しENTERボタンを押す。

プログラムウィンドウにENTER TARGET HEART RATE と表示

7. 目標心拍数を設定 INCLINE + - 又は SPEED+ - ボタンを使って、目標心拍数(0-60、 60-220)を設定しENTERボタンを押す。

プログラムウィンドウにPRESS START TO BEGIN と表示

8. START/STOP を押してください。

プログラムウィンドウにREADY SET GO と表示

### ユーザープログラムの設定 U1・U2 を選択

お好みのスピード・傾斜角度を20のセグメントに分割し任意の数値が設定できます。

- 1.電源ボタンON/OFFボタン 3 を押してください。

- 2.MODEボタン 5 でU1・U2のどちらかを選択してください。

プログラムウィンドウにENTER WORKOUT TIME と表示

- 3.運動時間を設定

この運動時間が20ケのセクションにて分割されます。INCLINE +-または SPEED+-ボタンを使って、運動時間(0:00 から 99:00 の記録)を設定しENTERボタンを押す。

誤入力の場合ははじめからやり直す

プログラムウィンドウにENTER WORKOUT DISTANCE と表示

- 4.運動距離を設定 INCLINE + - 又は SPEED+ - ボタンで、運動距離(0.00 から 999KM/MILE)を設定しENTERボタンを押す。

プログラムウィンドウにENTER WORKOUT CALORIES と表示

- 5.運動カロリーを設定 INCLINE + - 又は SPEED+ - ボタンで、運動カロリー(0.0 から 999)を設定しENTERボタンを押す。

プログラムウィンドウにENTER TARGET HEART RATE と表示

PULSEとSPEED部の2ヶ所が点滅し、同時に1セクション部も点滅します。

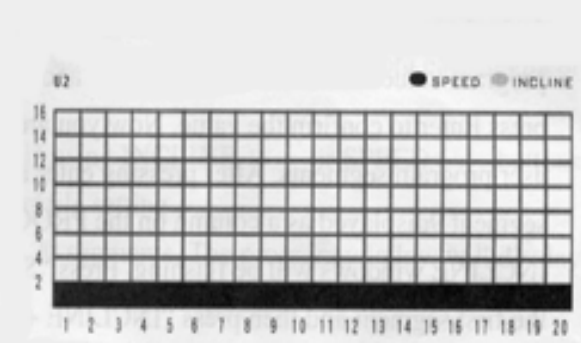
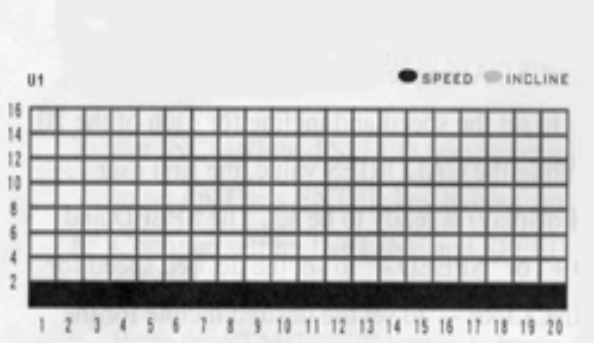
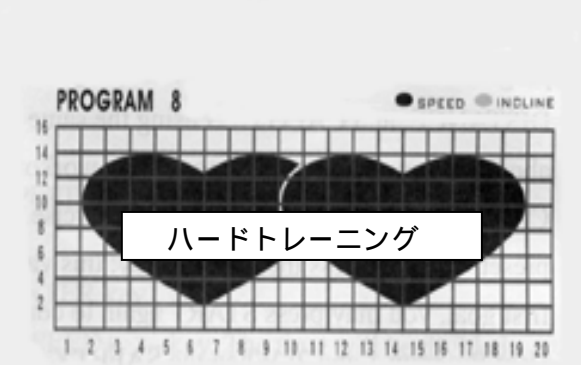
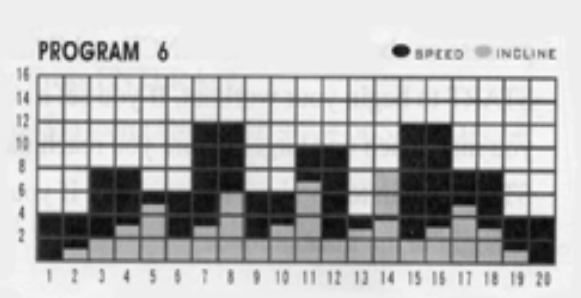
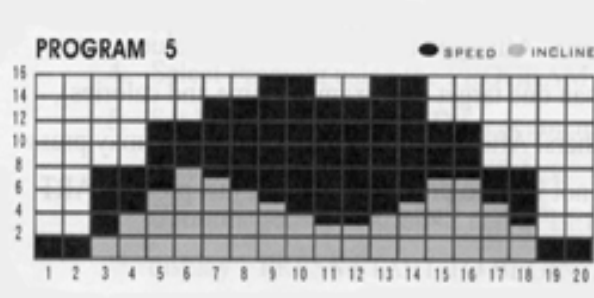
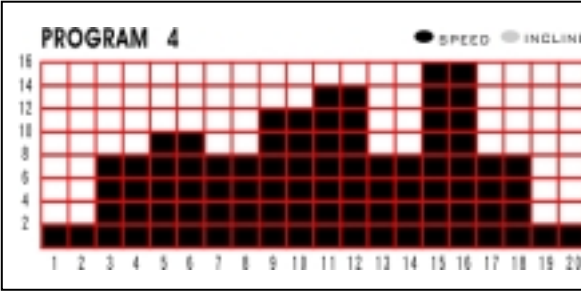
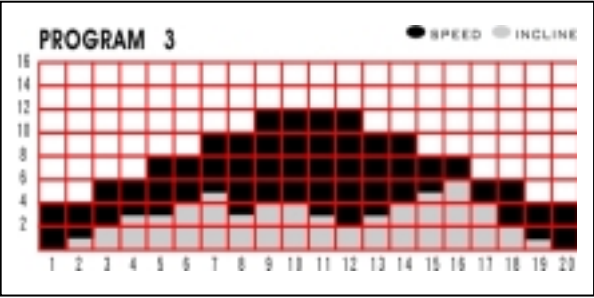
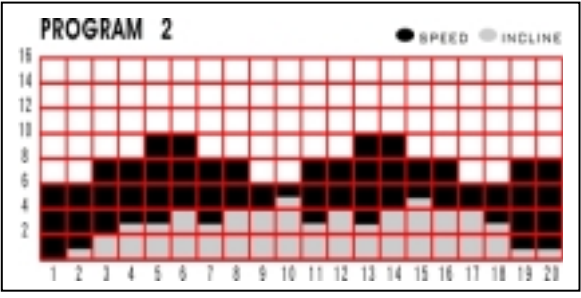
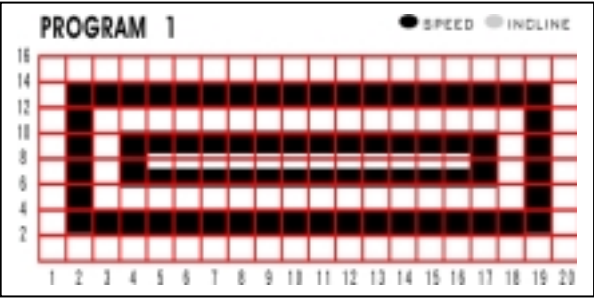
(インクラインはPULSE表示部に点滅しスピードはSPEED表示部に点滅します。)

- 6.INCLINE + - ボタンで傾斜角度を SPEED+ - ボタンでお好みのスピードを

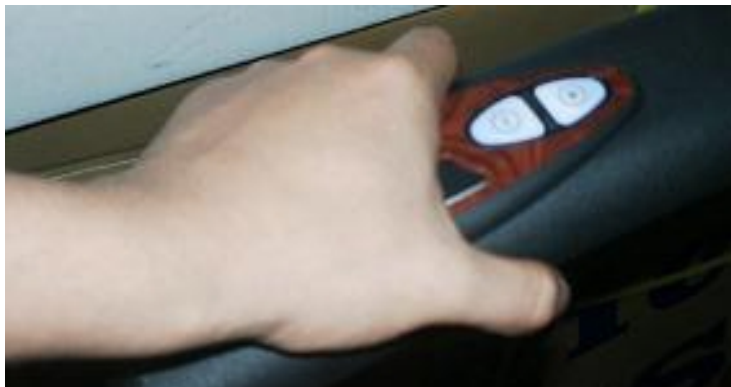
設定しENTERボタンを押す。ENTERボタンを1回押すと2セクション(次)へと移行します。1セクションから20セクションを設定し、STARTボタン(運動開始)にて設定して数値がメモリーされます。上書き(再設定)しない限り電源を切ってもメモリーは削除されません。)設定しない(数値変更)セクションはENTERボタンで移行してください。

20セクションの設定が終わるとプログラムウィンドウにPRESS START TO BEGIN と表示  
運動開始の場合は、START/STOP キーを押し戻す場合は再度ENTERボタンを押す。

プログラムの種類



## パルスグリップセンサーの使い方

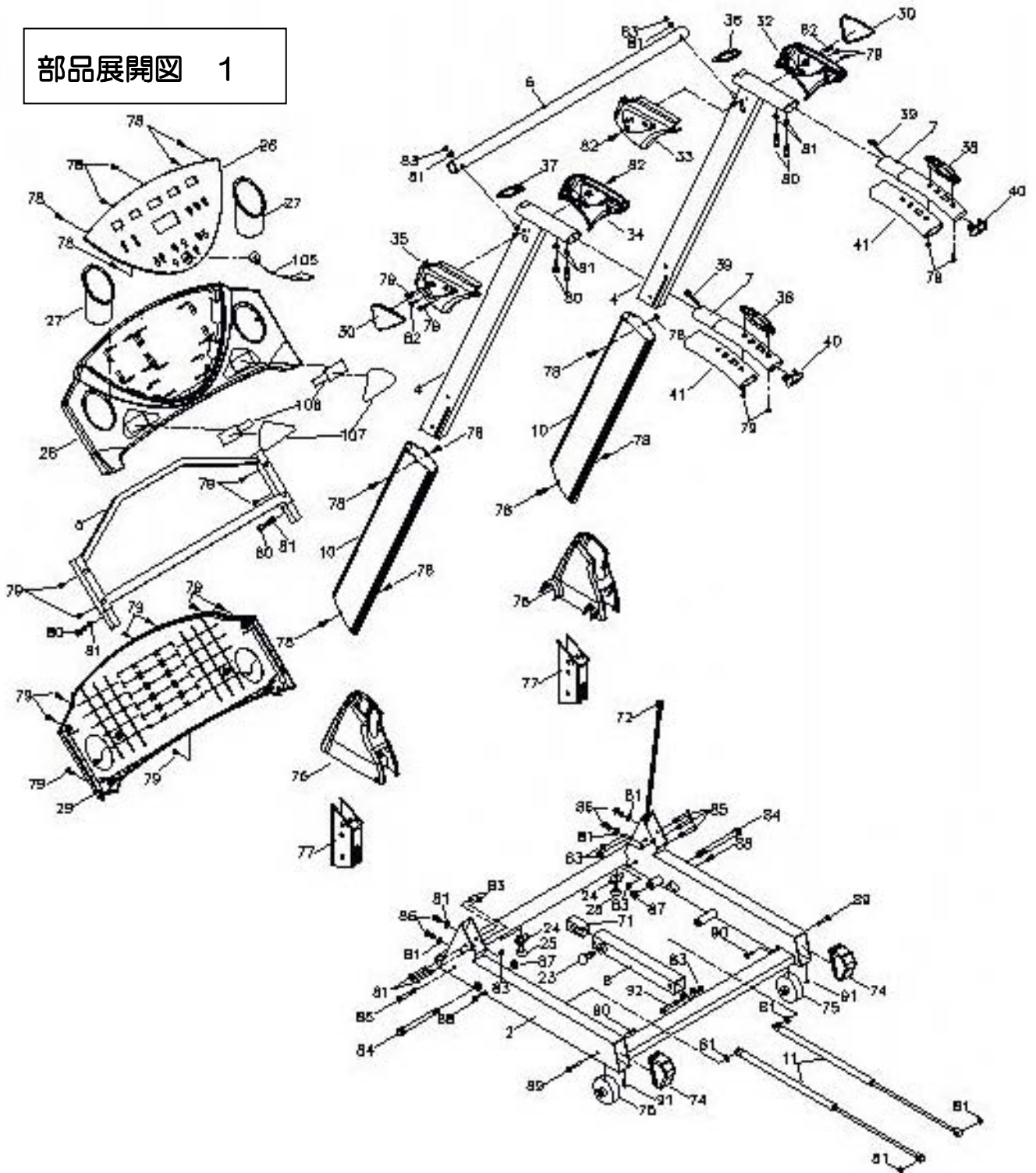


モニター部の①の  
PULSE部に数値が  
表示されます。

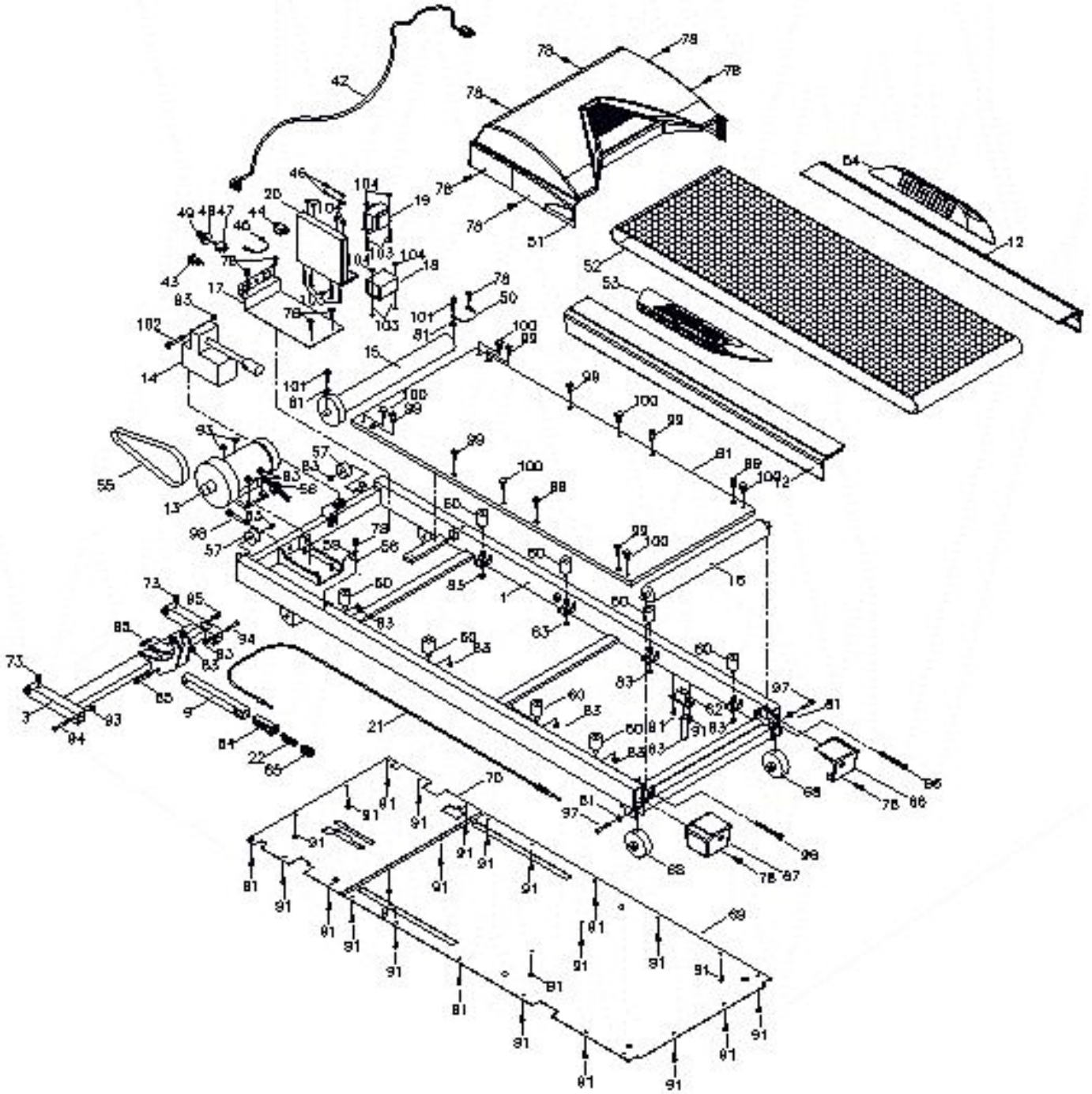
上図のようにグリップセンサー部に、両手（手のひら）で上から軽くおさえる感じで握ってください。握るとモニターPULSE部下に赤ランプが点滅します。

1. 電源 ON/OFFボタン ③ を押す。
2. START/STOPボタン ② を押し走行ベルトが動き始めたらグリップパルス部を握る。
3. 脈拍を検知すると、モニター部PULSE部下の赤ランプが点滅します。
  - STARTしないとパルスは表示いたしません。
  - 運動中はあまり力を加えないように注意してください。  
脈拍の検知が不正確になります。
  - 心拍が6つか7つ伝わるとモニターのPULSE部に表示されます。  
注意！ 個人差により表示するまでに数秒・数分かかることがあります。  
脈拍がでにくい場合は手の平を霧吹き等で少し湿らせてください。

部品展開図 1



部品展開図 2



## 本体折りたたみ方法

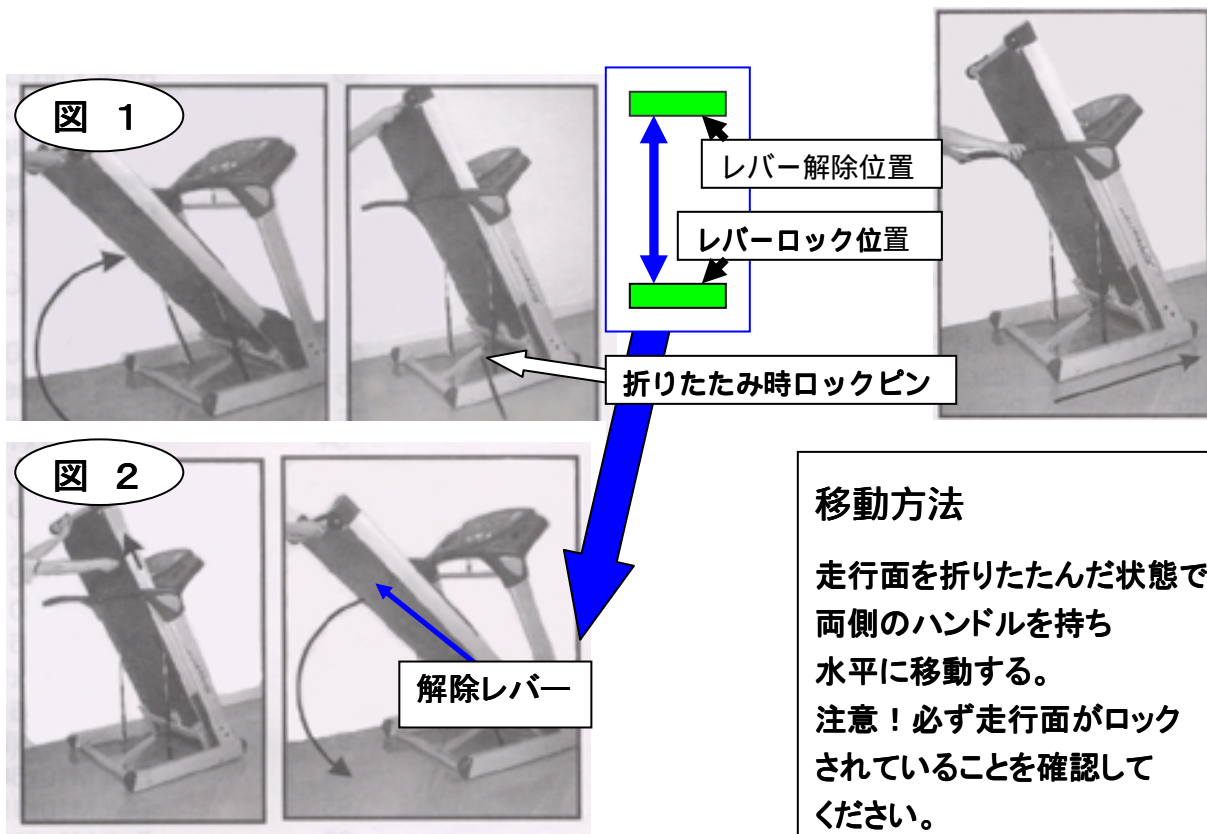
**注意！はじめに走行面の角度が1位置になっていることを必ず確認する。**

1. 本体後方のコーナーを持ち上げ 下部のロックピンがカチン！とロックする位置まであげる  
図1参照

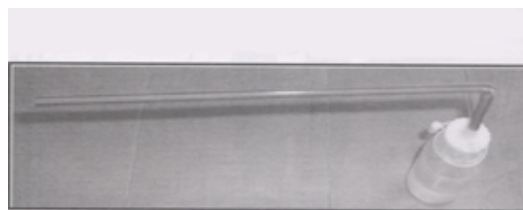
**注意！途中で手を離さないでください。注意！ローラー部を持たないでください。挟みます。**

## 本体を降ろす場合

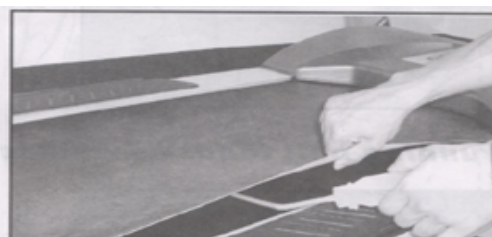
1. 図2の解除レバーを持ち上げ、走行面のコーナー部を手で支えゆっくり床におろす。  
★ 解除レバーを持ち上げて、本体が下がらない場合は、再度繰り返してください。



シリコンの噴霧方法 詳しくは別紙の整備書をご覧ください。



付属のノズル付きシリコン



ベルトをめくり上げてシリコンを中央部の出来るだけ奥の位置へ注入する。



## トラブルがおきたら

トラブル	チェックポイント	対処
<ul style="list-style-type: none"> <li>走行ベルトが動かない。</li> <li>○ タコ足配線はやめてください。</li> <li>○ コンセントに AC100V15A の容量はありますか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードが差し込まれているか？</li> <li>非常停止キーが正確にセットされているか？</li> <li>本体フレームの電源をオンにしてください。</li> <li>その他電気配線の接続不良？</li> <li>容量不十分の延長コード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。</li> <li>非常停止キーを奥まで入れてください。</li> <li>本体前方下の電源はオンになっていますか？</li> <li>配線の接続(スイッチ部等)してください。</li> <li>直接電源を取る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ランニング中につんのめったり、ベルトが止まったような感じがする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行ベルトにゴミやホコリを巻き込んでいませんか？</li> <li>走行ベルトとボードの間の潤滑油が乾いていませんか？</li> <li>走行ベルトの張り具合をチェックしてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベルトを規定の張りに調整してください。</li> <li>専用の潤滑油を塗布してください。(シリコンタイプを使用)</li> <li>走行ベルト張り調整</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>走行ベルトが走行板の中心からずれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行ベルトの張り具合をチェックしてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行ベルトの位置調整。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>本体の下に黒いものが落ちている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行ベルトが使用になじんできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マシンの下を周期的に掃除機をかける。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>本体から音がする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>止めネジの緩み。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>止めネジを締め直す。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>スピード調整がきかない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピード調整部分が壊れている。</li> <li>制御回路の故障または断線。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピード調整部分に異常がないか確認。</li> <li>販売店へ連絡。(部品交換)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>非常停止がきかない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制御回路の故障または断線。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売店へ連絡。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>電源が入らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードが断線している。</li> <li>IC基盤の電線接触が悪い。</li> <li><u>ブレーカーが飛んでいませんか？</u></li> <li>ヒューズが切れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードの確認。(部品交換)</li> <li>IC基盤の電線を確認。(部品交換)</li> <li>再整備をする。</li> <li>ヒューズ交換。基盤内</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>メーター表示がでない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常停止キーが正確にセットされているか？</li> <li>メーターの距離スピード表示をしない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常停止キーを奥まで入れてください。</li> <li>モーターカバー内センサー部分の接続を確認してください。</li> </ul>

走行ベルトが走行板の中心に調整されてない場合は、ベルトを損傷しトラブルの原因になりますので即 調整していただきますようお願い致します。

走行ベルトは消耗品のため、保守点検を必ず行ってください。

## 本 体 仕 様

名 称	ヘルスジョガー
形 式	HJ - 660
電 源	AC100V 15A 60/50HZ
傾 斜 角 度	0 ~ 12%
設 定 速 度	0.8 ~ 約16.0k/h (0.2キロ単位)
時 間	カウントアップ 0分00秒~99分59秒 カウントダウン 99分00秒~0分00秒
距 離	積算表示 0.00~99.99km 減算表示 99.9km~0.00km
消 費 力 口 リ ー	積算表示 0.0~999kcal 減算表示 990kcal~0.0kcal
緊急停止用安全キー	マグネットスイッチ
走 行 面 寸 法	幅 48.5 x 長さ146cm
本 体 寸 法	幅 91cm x 長さ210cm x 高さ139cm
質 量	約 113kg
最 大 使 用 体 重	約 130kg
使 用 モ ー タ	DCモーター 2.5馬力
収 納	折りたたみ式
連 続 使 用 時 間	約100分
付 属 品	六角レンチ・スパナ・安全キーシリコン油・取り扱い説明書
原 産 国	台 湾

## 保証規定

- 取扱説明書に従った正常な使用状態でご購入後1年以内に故障した場合には無償修理いたします。
  - 無償修理期間内に故障して修理を受ける場合は、本書を提示のうえ、ご購入店へ一度ご相談下さい。無償修理期間内でも次の場合には有償修理になります。
    - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
    - (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
    - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧による故障および損害。
  - (二) 本書の提示がない場合。
  - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - (ヘ) 消耗品：ベルト・プラスチックカバー・パネルシール・ラバー（鉄製品以外）
  - (ト) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
  - (チ) 車両や船舶等に設置された場合に起因する故障および損傷。
  - (リ) 営業、業務用に使用した場合による故障および損傷。
  - (ヌ) メンテナンス不足による故障等。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
  - この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## 品質保証書

このたびは、中旺ヘルス健康機器を、お買い求めいただきありがとうございました。  
本機は厳重な検査を行い高品質を確保しております。しかし通常のご使用において  
万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、一年間は  
無償修理いたします。

※本機の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。  
This warranty is valid only in Japan.

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印して  
いただいでください。

品名： **ヘルスジョガー**

形式： **HJ-660**

ご芳名：

ご住所：

Tel. ( )

お買い上げ店名：

住所：

Tel. ( )

お買い上げ年月日： 年 月 日

シリアル No.

〒452-0001 愛知県清洲市西枇杷島町城並3-2-2

(株)中旺ヘルス TEL052-501-2577 FAX 052-501-2588

東京営業所 TEL(03)-3835-4399

E-mail [hj@jp-chuoh.com](mailto:hj@jp-chuoh.com)

URL: [www.jp-chuoh.com](http://www.jp-chuoh.com)

# HJ-660 速度・角度再設定手順

スピード・角度に異常を感じられた際は、下記の手順にて自動調整を行って下さい



## 注意

ボタン操作を行う際は絶対に走行ベルトに乗らないで下さい。

前方の下部にある電源スイッチをオンにする。

モニターは何も表示しません。

INCLINE ; INCLINE ; ENTER ボタンを同時に “ CAL ” と表示するまで押し続けて下さい。(約、3秒間ほどです)

自動的に Elevation motor が動き始め、自動調整を始めます。

調整中、角度は最大になり、その後、水平な位置に戻ります。

調整中、モニターは点灯していますが、終了すると消えます。

SPEED ; SPEED ; ENTERER ボタンを同時に押すと3秒後に “ PRESS START KEY TO SPEED CALIVILATION ” と表示します。

START/STOP ボタンを押すと自動的に速度調整をします。

調整中、速度は0から最高速に達しモニター表示をしていますが、

終了すると消えます。

調整が終わりましたら ON/OFF ボタンにてモニターを点灯して、いただき、START/STOP ボタンにて試運転を必ず行いご確認下さい。

# お客様へのお願い

このたびはヘルスジョガーをお買い上げいただき誠にありがとうございます  
本機を正しく、安全にご使用いただくために取り扱い説明書・下記事項を必ず  
お読みください。

本機は連続 90 分以上のご使用は避けてください。  
連続 90 分近く使用された場合は必ず 30 ~ 60 分以上間隔をおいてご使用ください。

90 分近くご使用される場合は整備の（潤滑剤の噴霧）頻度を高めてください。  
走行ベルトの滑りが悪くなりますと駆動部品・電子部品が早く消耗いたします。  
又、長時間未使用の場合、ご使用前に必ず整備をしてください。

コンセントには必ず AC 100V 15A の容量があるものをご使用ください。  
電圧の低下や同じ回路内で他の電化製品をご使用されますと、本機の電力が低下し  
動作不良（ブレーカー・ヒューズが飛び・速度低下等）を起こすことがあります。  
電子部品が早く消耗いたします。

コンセント先のアースは必ず接続してください。  
静電気防止・電子部品保護のため  
電気工事店様等へご依頼ください。

(株)中旺ヘルス

TEL 052 - 501 - 2577

FAX 052 - 501 - 2588